

ワークショップについて

【議題】

「社会の変化に対応しつつ地域の実情に応じたアウトリーチ型支援の充実のための方法」

【協議にあたって】

- ・各グループにおいては、以下の流れを参考に、本研究協議会のテーマに沿って設定した上記議題について協議していただきます。
- ・参加者は、申込時に選択した関心事項が近い方同士となるよう、グループ分けをしました。各グループは、**様々な方（行政関係者（都道府県・市区町村）、民間団体、地域の関係者）**で構成されています。
- ・各グループの活発な協議を通じて、**地域での多様な手法によるアウトリーチ型支援の充実への“きっかけ”**としていただければと思います。

時間(目安)	「ワークショップ」の流れ
15:05～15:10 (5分)	・事務局より、進め方等の説明 ・アドバイザーの紹介
15:10～15:15 (5分)	<p><話し合いの流れ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※ ワークショップにおける基本ルール</p> <p>① カメラは原則オン。</p> <p>② 他者の発言中は、話に割り込まない。</p> <p>③ 他者の発言中は、うなずく等、リアクションを取る。</p> <p>④ 提案は、最初から否定しない。</p> </div> <p>※ <u>各グループの司会者、書記(シート提出者)、発表者は、事務局より事前に指名していますが、グループ内での話し合いにより変更しても構いません。</u></p>
15:15～15:55 (40分)	<p>【自己紹介】(自分が関わっている活動を含む) (1人1分程度)</p> <p>【課題の設定】(アウトリーチ型支援を通じて解決したい「家庭が抱える課題」の設定) ・保護者の子育ての悩み解消、子供の生活習慣の改善、子供の不登校防止 等</p> <p>【取組と対象】(「課題」を解決する「取組」とその「対象」の設定) <取組の設定> 以下の①、②からひとつ選択 ①家庭教育支援の体制づくり・強化 ・ ②家庭へのアウトリーチ型支援の実践 <取組の対象の設定> (誰に対して、どこに対して) (①の場合) 支援の実践者、新たに支援を担う者、自治体や関係機関の職員 等 (②の場合) 地域のつながりが希薄な保護者、不登校児童を抱える保護者 等</p> <p>【方策】(「対象」への具体的な方策) (①の場合) 自治体の部局間の連携手段、地域人材の発掘・育成 等 (②の場合) 支援すべき家庭の選定やアプローチの方法、つながり作りの方法 等 ※ 家庭への訪問支援に限らず、多様な支援の方策を検討してください。</p> <p>【留意点等(余裕があれば)】(「方策」を実施する上での留意点等) ・方策を実施するに当たっての留意点や課題・障壁 等</p>
15:55～16:00 (5分)	<p>【全体まとめ】(※発表やワークシート提出に向けて、検討内容の整理・とりまとめ) ※ ワークシートは、全てのグループから提出していただきます。</p>
16:00～16:05 (5分)	ミーティングルーム入り直し(グループ 21～38)
16:05～16:15 (10分)	発表(3チーム×3分程度) ※ 発表を聞く際は、カメラ・マイクをオフにしてください。
16:15～16:25 (10分)	まとめ・講評